



ち小山
ほ山

中道改革連合
愛知第15区総支部長

あきらめない
思いが未来を創る

ある日、出産したその日から
「障がい児の母」となりました。
国内でも数少ない
指定難病…

苦難の日々の始まりでした。
この体験が政治に挑戦する
きっかけとなりました。

まさに「生きにくさ」とは
環境や社会側にも
問題があると

痛感した瞬間でした。
例えば、女性であること

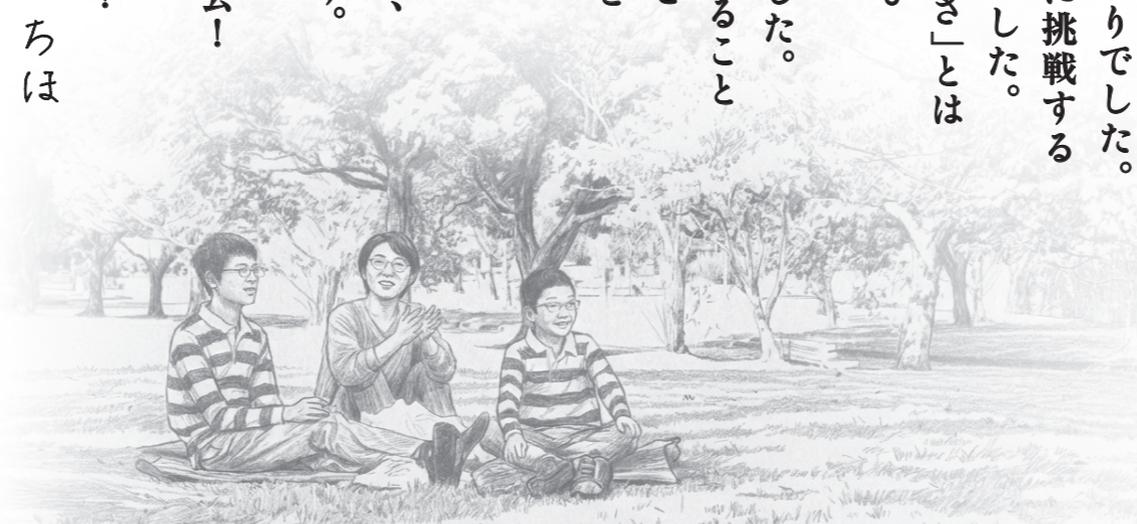
ご高齢であること
ご病気があること
様々な事情で

働けないこと…。
誰にとっても

居心地の良い環境、
社会をつくります。
全ての人に

居場所のある社会！
その社会を
私が実現します！

小山ちほ



ほっとけない！
こんな社会をめざすこと



笑顔で安心して
子育てができる社会へ

どんな境遇でも、
働く場所が見つかる社会へ
命の価値はみんな同じ、
誰もが平等に学べる社会へ



全ての人にそれぞれの
居場所と役割がある社会へ



農業・観光が息づく東三河を、
安心・安全な社会へ

小山ちほの
情報は
こちら



◆小山ちほプロフィール

曾祖母の故郷が豊橋市東細谷町。50歳、東京富士大学短期
大学部卒業、長男不登校、次男指定難病・重度知的障がい。
イオン、ニトリにて営業職を経験、自身の経験を生かし、障がい
福祉会社へ入社。その後は、川口市議として活動。2024
年衆議院議員に初当選、内閣委員会・厚生労働委員会所属。